

かごしまの巨木と出逢う



あなたに出逢えてよかった

ここには凜とした空間がある



- ◇ 日時:平成28年11月27日
- ◇ 講師:佐伯 直憲氏 (樹木医)
- ◇ 主催:フォレスト22
- ◇ 助成:かごしまみどりの基金



樹木医と巡る 名木・巨木見学ツアー in 南薩摩



あなたに出逢えてよかった

今回は、南薩摩の名木・巨木を訪ねる旅です。

名木・巨木との出逢いの瞬間にあなたは、何を感じるのでしょうか？
そして、どんな気持ちに包まれるのでしょうか？

樹木医と巡る、バスツアーは貴重な体験となると思います。

多くの気づきや感動を持ち帰ってください。

樹木医 佐伯 直憲氏が専門的な立場で優しく丁寧にご案内いたします。
巨木は、決して強いわけでもなく、繊細で微妙な環境のバランスの中で生きていることを学ぶことでしよう。

佐伯氏のみが語れる、多くの貴重な体験を知り得る、絶好の機会になると思います。

そして、自分のふるさとや身近な地域の良さに目を向けてくださったら嬉しく思います。

さあ、出かけましょう！



飯倉神社 (クス)

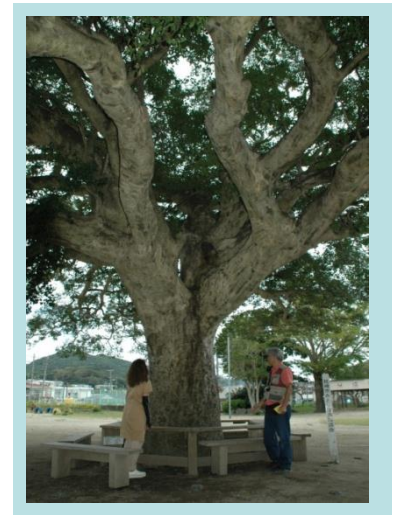


飯倉神社のクスノキは、大正年間に国の指定天然記念物に指定されたが、その後の落雷により幹が裂けたために指定解除され、昭和31年に県指定となりました。幹周は13mで高さは約さ25m、樹齢約1200年の巨木です。昔は、約6畳の空洞があったそうだが現在は2本の木が立っているように見えます。クスは、常緑高木で本州、四国、九州の暖地でみられるが、野生かどうか解らず、中国江南地方の原産ともいわれるがこれも不明です。



枕崎小学校

(クログネモチ)



枕崎小学校のクログネモチは、指定天然記念物ではありませんが、高さ11m、幹周3mです。樹形が非常によく、県内でも有数の大きさの巨木です。

クログネモチは、モチノキ科に分類される常緑高木で高さ10m内外、雌雄異株です。葉は互生で光沢があり厚皮質であり、花は、5～6月に白く小さな花が咲き、果実は10月頃赤く成熟し、花が咲くころまで着果している。生育地は本州中南部以南に生育しています。

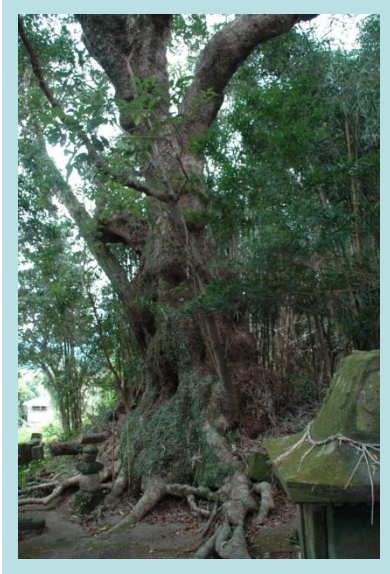
樹形や果実の着き具合が良かったために公園樹、街路樹として植栽され、庭木としても、クログネモチ(苦勞せずに金持ち)地域によっては、クログネモチ(苦勞して金持ち)に通じ、また花が咲くまで果実が着果しているため子孫繁栄の縁起木として庭木として植栽されています。

なお、校庭にはシノキやアコウの大木も生育しています。



原（はる）

（タブノキ）



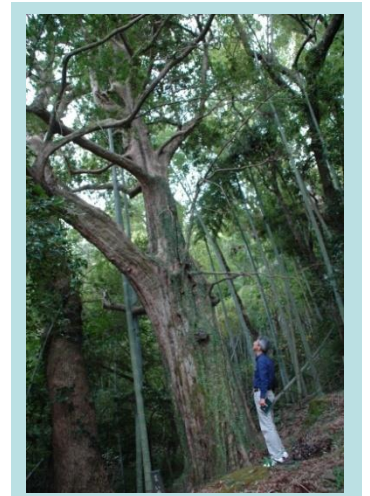
原のタブノキは、幹周8.9m高さ約25m、樹齢300年以上で県道272号の脇の小高い小山に生育している。竹山に囲まれているが、根際に明和9年（1773年）の墓石があります。

タブノキは、暖地の沿海地によく生育するクスノキ科の常緑高木で、塩風に強いため、防風防砂用として植栽されています。



竹田神社

（クス・イヌマキ）



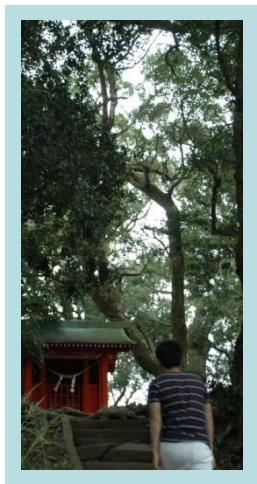
竹田神社のクスノキは、幹周8.2m、樹高15mで指定はされていません。

境内には、クスの巨木が数本生育し社叢林にイヌマキの大木も生育しています。竹田神社は、明治6年に創立され、戦国時代に生まれ薩州島津家中興の祖と称される島津忠良を神として祀られています。



大汝牟遲神社

(クス)



千本クスは、吹上町中原の大汝牟遲神社参道の東側に、千本楠の森と呼ばれる10数本のクスの巨木生育している森があります。太い枝がさまざまな方向に伸びている様子は壮観です。

明治43年に日英博覧会にクスの切り株が出品され、調べた結果樹齢800年以上と推定されたそうです。

また、神社にも幹周11.2m、樹高22m樹齢1000年以上のクスのご神木も生育しています。

伝えたい想いがここにある

フォレスト22 森の物語

私たちフォレスト22は、美しく豊かな自然を次世代に引き継ぐために、森林ボランティア活動を通して自然環境の維持保全の活動をしています。



第3回 (肝付・鹿屋編) 平成27年11月 集合写真

